

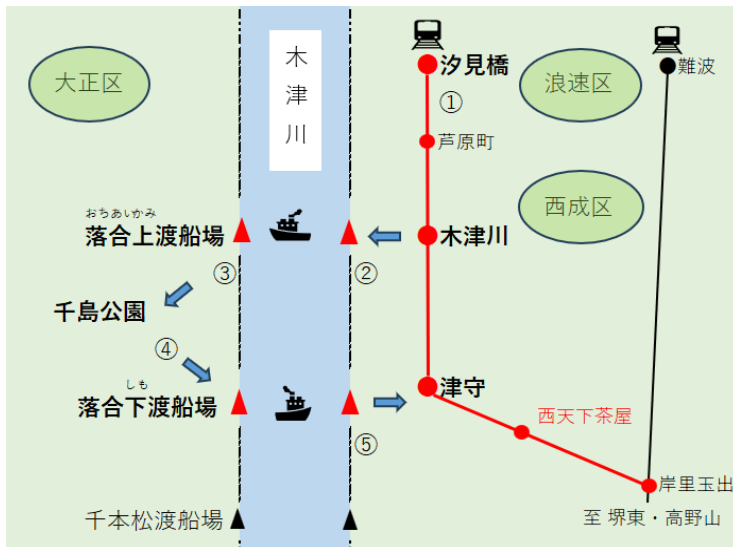
# 南海汐見橋線と木津川の渡船めぐり

2025年5月13日(火) 晴れ 集合9:40 解散12:30

1班 吉岡英機

## はじめに

先月は、お洒落な"うめきた界限"をめぐるしましたが、5月はガラリ変わって大阪市内の下町訪問です。北大阪在住の方にとっては、馴染みのない南海汐見橋線と市営渡船の二か所をブラ〜りブラ〜り。



## コースの概要

- ① 汐見橋駅から木津川駅まで電車移動
- ② 落合上渡船場へ徒歩移動し大正区側まで乗船
- ③ 千島公園へ徒歩移動
- ④ 公園から落合下渡船場へ徒歩移動し西成区側まで乗船
- ⑤ 津守駅へ徒歩移動

## 集合は汐見橋駅

かつて堺東や高野山に向かう始発駅として賑わっていたが、大正時代に始発駅が難波駅へ移り脇役の座に。さらに昭和60年、岸里玉出駅の高架化に伴い汐見橋駅からの列車が直接高野線に乗り入れが出来なくなり岸里玉出駅までの約5kmを折り返すことに。

こんなことから乗客も減少し、現在では30分に1本の運行、最終電車が22:10発という都会のローカル線となった流れ。



木津川駅前で『はいチーズ』

## 大阪の秘境駅

二つ目の木津川駅で下車。

一日の乗降客数が150人以下という無人の駅に降りたのは我々だけで乗り込む客はなし。

改札口を出て驚いたのが正面の路面。

舗装もされずペンペン草の生えた砂利道はまさしく『秘境駅』の言葉がピッタリ。

さらに、落合上渡船場へ向かう道すがらは工場街。夜間人口も少なく夜更けと共に人通りが途絶え一人歩きをためらうところ。

## 渡船は無料

駅から約20分で落合上渡船場に到着。

定員46名の船に乗船し、船べりから川岸に並ぶ工場や倉庫を眺めているとたちまち大正区側へ接岸。

なお、渡船は道路や橋と同じ扱いなので無料。

下船後、ほど近くの千島公園へ。

公園では地下鉄建設工事の残土を盛り上げた標高33mの昭和山(しょうわざん)に登頂する方も。しばらく一息ついてから落合下渡船場をめざして20分ほどテクテク。

ここから再び乗船し西成区側へ戻ること。川の中ほどで船首を対岸に向けたかと思えばアッという間に到着。

その後、解散場所の津守駅前の西成公園まで津守浄水場を経てブラリと20分。

以上、本日の行程はスタートから約7,500歩なり。



落合上渡船場から対岸の大正区側へ向かいます



落合下渡船場から西成区側へ戻ります

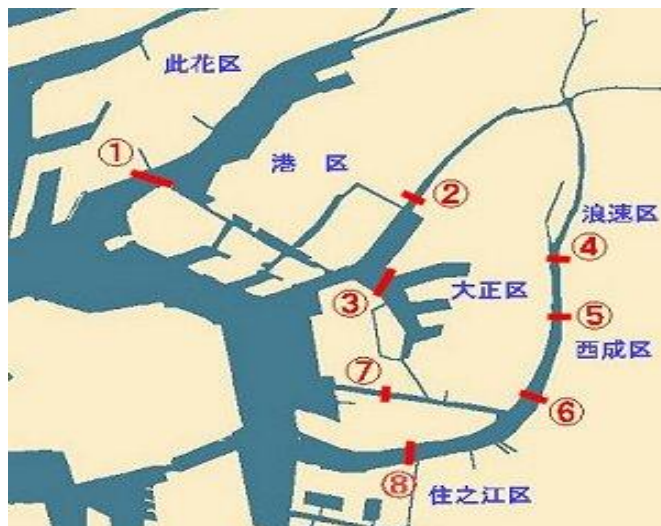
## 渡船は大阪市内に8か所

そのうち7か所が区域全体が川に囲まれている大正区にあります。これは木津川沿いの工場へ荷物を運ぶ大型船の往来を妨げないよう、川面から高い橋を架けねばならないことと密接に関係しています。

今回は訪ねていませんが、落合下渡船場からもう少し下ると千本松渡船場に着きます。この傍には高さ36mの千本松大橋があり、両岸にはループ状の道路が取付けられてますこの橋と道路は【撮影スポット】としてお勧め!! **ですが…**。

これほど高い場所に架けられた橋を徒歩や自転車で登り降りするのは一苦労。

その点、渡船なら水平移動で楽々渡れます。渡船が今も活躍する訳がよ〜くわかります。



## 大阪市の渡船乗場 [市のHPより]

渡船管理事務所より転載許可を得ています

- ① 天保山渡船場
- ② 甚兵衛 //
- ③ 千 歳 //
- ④ 落合上 //
- ⑤ 落合下 //
- ⑥ 千本松 //
- ⑦ 船 町 //
- ⑧ 木津川 //